

# 「にっぽん丸」運航方針と感染症対策

資料3-③

2020年11月25日版



商船三井客船株式会社

## 2020年度配船方針

- 営業航海は国内のみとし、年末まで2泊3日以内、発着港は有症者発生の場合でも入港可能な港湾を選定する。
- 旅客数は、最大定員の4割（200名）程度から始め、段階的に引き上げ今期中は6割（320名）程度を上限とする。販売対象客室数（203室）の1割20室程度を隔離用に販売対象から除外。
- 今後、全国規模またはクルーズ予定地域の感染爆発など事態急変の場合、速やかに催行中止とすることを躊躇わない。

# 再開へのロードマップ

国交省クルーズ再開有識者WG「中間取りまとめ」発表（2020年9月18日）  
日本外航客船協会ガイドライン（JOPA GL）の公表（2020年9月18日）  
日本港湾協会ガイドラインの公表（2020年9月18日）

JOPA GLに準拠したMOPASマネジメントマニュアル（2020年9月18日）  
ドリルによる検証と見直し（2020年9月25～26日）  
日本海事協会(NK)による審査⇒本認証(鑑定書)取得済み  
(2020年10月16日交付)

2020年度下期（11月以降）の自主企画商品発表（2020年10月1日）

トライアルクルーズ（関係者・メディア向け公開）（2020年10月17～18日）



# 企画募集型クルーズの開始（実績）

出発日	クルーズタイトル
2020/10/17	横浜発着 トライアルクルーズ（1泊2日）
2020/10/22	横浜発着 プレオープンクルーズ（1泊2日）
2020/11/2	神戸発着 秋の味覚クルーズ（2泊3日）
2020/11/5	神戸ワンナイトクルーズ（1泊2日）
2020/11/7	横浜発着 秋の味覚クルーズ（2泊3日）
2020/11/10	にっぽん丸紀行 浜島～スペシャルエンターテイメント～（2泊3日）
2020/11/15	にっぽん丸紀行 鳥羽～スペシャルエンターテイメント～（2泊3日）
2020/11/18	名古屋発着 秋の小豆島クルーズ（2泊3日）
2020/11/21	神戸発着 秋の高千穂クルーズ（2泊3日）
2020/11/24	横浜発着 秋の絶景クルーズ～香嵐渓～（2泊3日）
2020/11/27	横浜発着 秋の絶景クルーズ～寒霞渓～（2泊3日）

# 感染症対策の三つの柱



- ✓ 感染者乗船のリスクを減らす ⇒ **持ち込まない！**
- ✓ 船内での感染リスクを抑える ⇒ **うつさない！**
- ✓ 感染の拡大リスクを抑える ⇒ **広げない！**

# 感染者が乗船するリスクを減らす(1)

## 予約条件設定によるスクリーニング

乗船日前日より遡って14日以内に、以下に該当するお客様は、ご家族・ご同行者・ご同室者の方も含め、ご乗船をお断りする。

- ✓ 37.5℃以上の発熱があり、咳、のどの痛み、筋肉痛（運動によるものは除く）、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚の異常などの症状を有した方
- ✓ 海外渡航歴を有する方
- ✓ 新型コロナウイルス感染症と診断された方、もしくは感染の疑わしい方と濃厚接触（※）をした方

※ 手で触れることの出来る距離（目安1メートル）で、必要な感染予防策なしで15分以上の接触（交通機関等公共の場での一時的な接触は除く）

- ✓ 事前ウイルス検査  
当面の措置として事前PCR検査を要請する。



# 感染者が乗船するリスクを減らす(2)

## 乗船受付でのスクリーニング



### 密を避ける

- 受付時間の分散化
- ソーシャルディスタンスの確保・誘導案内
- 換気励行

### スクリーニング

- サーモグラフィ使用
- 健康質問票の提出
- 必要の際には船医による問診

### 感染予防

- マスクの着用
- 手洗い、手指消毒の励行
- うがい

健康質問票の回答及び体温測定の結果を踏まえ、乗船に適しない場合、**該当船客とその同行者の乗船をお断りする。**

# 感染者が乗船するリスクを減らす(3)

## 乗組員の乗下船管理

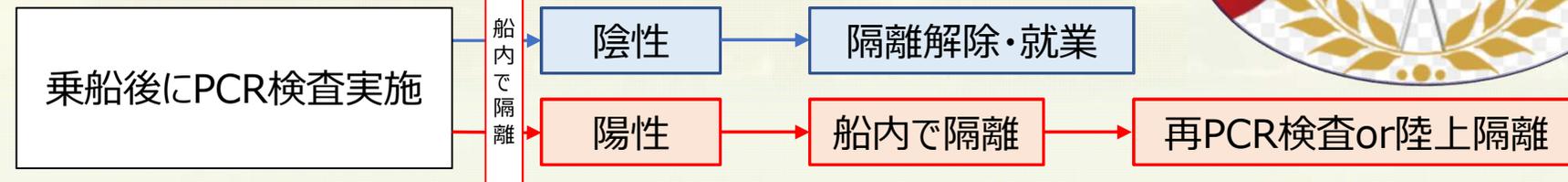


- ✓ 乗船日14日前以降の行動を制限、注意喚起
- ✓ 健康状態確認票により、毎日健康状態を確認
- ✓ 乗船日当日は再度、乗船時に健康状態を確認
- ✓ 乗組員に対するPCR検査の実施
- ✓ 乗船中は毎日2回以上の体温測定を実施
- ✓ 下船時、外国籍乗組員に帰国後の連絡先を確認
- ✓ 各種確認記録や検温記録の保管

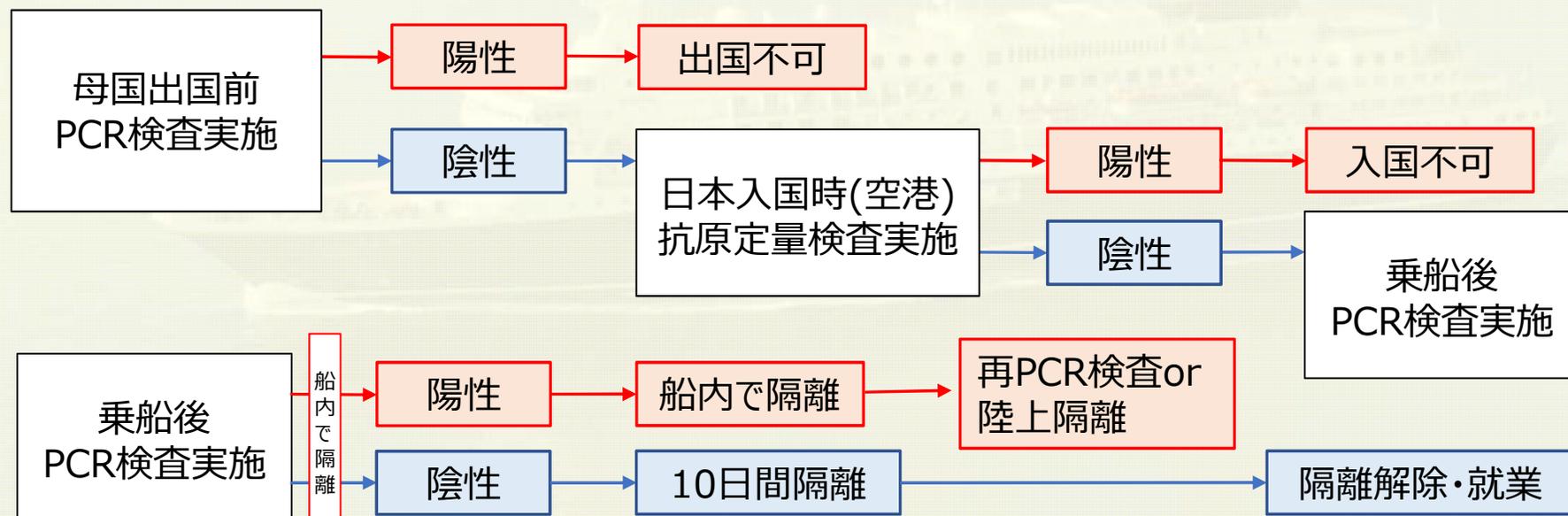
# 乗組員へのウィルス検査実施



## 日本人乗組員



## フィリピン人乗組員



乗組員に対し、継続的、定期的な抗原検査/PCR検査を実施。上陸時間制限08:00～20:00。

# 船内感染を防ぐ(1)



## 徹底した清掃・消毒と乗組員への教育・訓練

- ✓ 船内の区画、公室などを使用頻度によりエリア分けし、定期的な間隔で頻繁に清掃・消毒を実施
- ✓ イベント会場、食事会場、接遇会場などは使用の度に備品や設備を消毒、清掃
- ✓ 消毒液や備品については、公衆衛生当局や専門機関から有効とされる物を目的に合わせて使用
- ✓ 公衆衛生の専門機関の指導により知見を備えた乗組員が清掃・消毒に従事する



環境衛生管理者を取得した乗組員には認定証が渡されました。

## 船内感染を防ぐ(2)

### 100%新鮮な空気と空調除菌装置



- ✓ 全客室および乗組員居室と公室の一部は、100%外部からの新鮮な空気を提供。  
1時間に6回の換気が行われる。
- ✓ 循環空調となっている区画の送風機に、感染症病棟で主に採用されているUV-C（紫外線C波）殺菌ライトを新たに設置。  
（6-7階公室、第一および第二区画乗組員居室、乗組員食堂区画など）
- ✓ ダイキンMRエンジニアリング社から船舶空調向けの抗菌・抗ウイルスフィルター、及びストリーマ技術を装備した大型空気清浄機を導入、ウイルス低減化を図る。（低減化率99.9%）
- ✓ CO2濃度センサーを活用した換気状況の確認。

# 船内感染を防ぐ(3)

## ソーシャルディスタンスの遵守・サービス変更



- ✓ 船内で行列が発生し得る場所で、物理的な距離を取るよう事前準備、案内と誘導。
- ✓ 受付カウンター、イベントステージなどでクルーと船客との物理的距離を確保。  
(座席間隔 1 m 以上、最前列と舞台の間隔 2 m 以上など)
- ✓ 密集、密接が想定される場所での座席数を削減、完全予約制や入場制限を行う。  
(ダイニング、バー、イベントホール、大浴場、スパ&サロン、ショップなど)
- ✓ サービススタイルの変更、一部サービスの中止。  
(ダイニング等でのビュッフェ・セルフサービスの中止。ソーシャルダンス、麻雀などのテーブルゲーム中止。サウナ中止。)

その他にもマスクやフェイスシールド、仕切パネルなど飛沫感染防止策を講じています。

# 感染拡大を防ぐ(1)

## 発熱者の発見、日々の検温記録管理

AI搭載サーモグラフィーの導入。船内複数個所への設置。  
顔認識と体温異常のアラーム検出日時により追跡。  
ICカードとQRコードとの併用により、毎日の検温を管理。



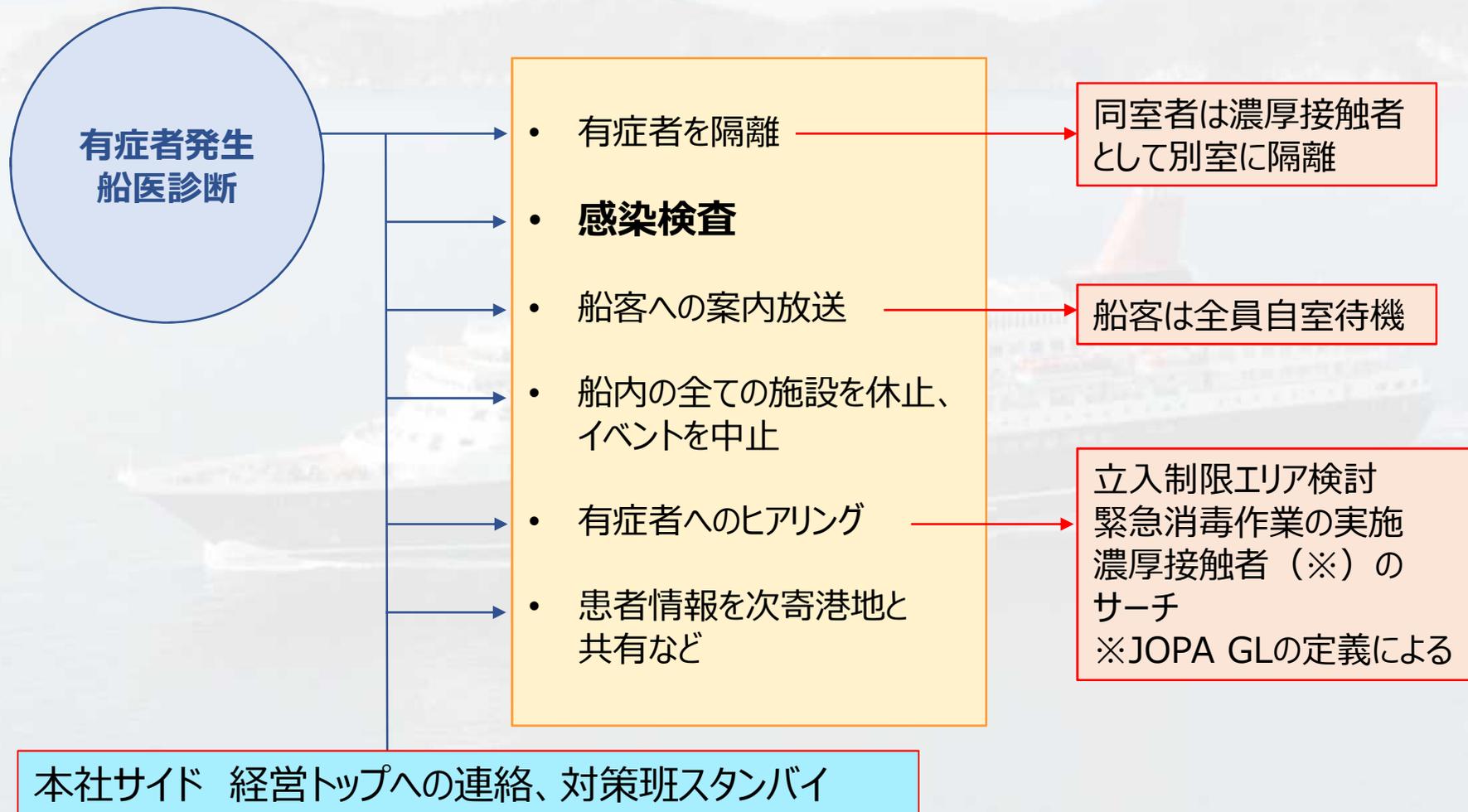
## 感染拡大を防ぐ(2)

### 有症者の早期発見、隔離、検査

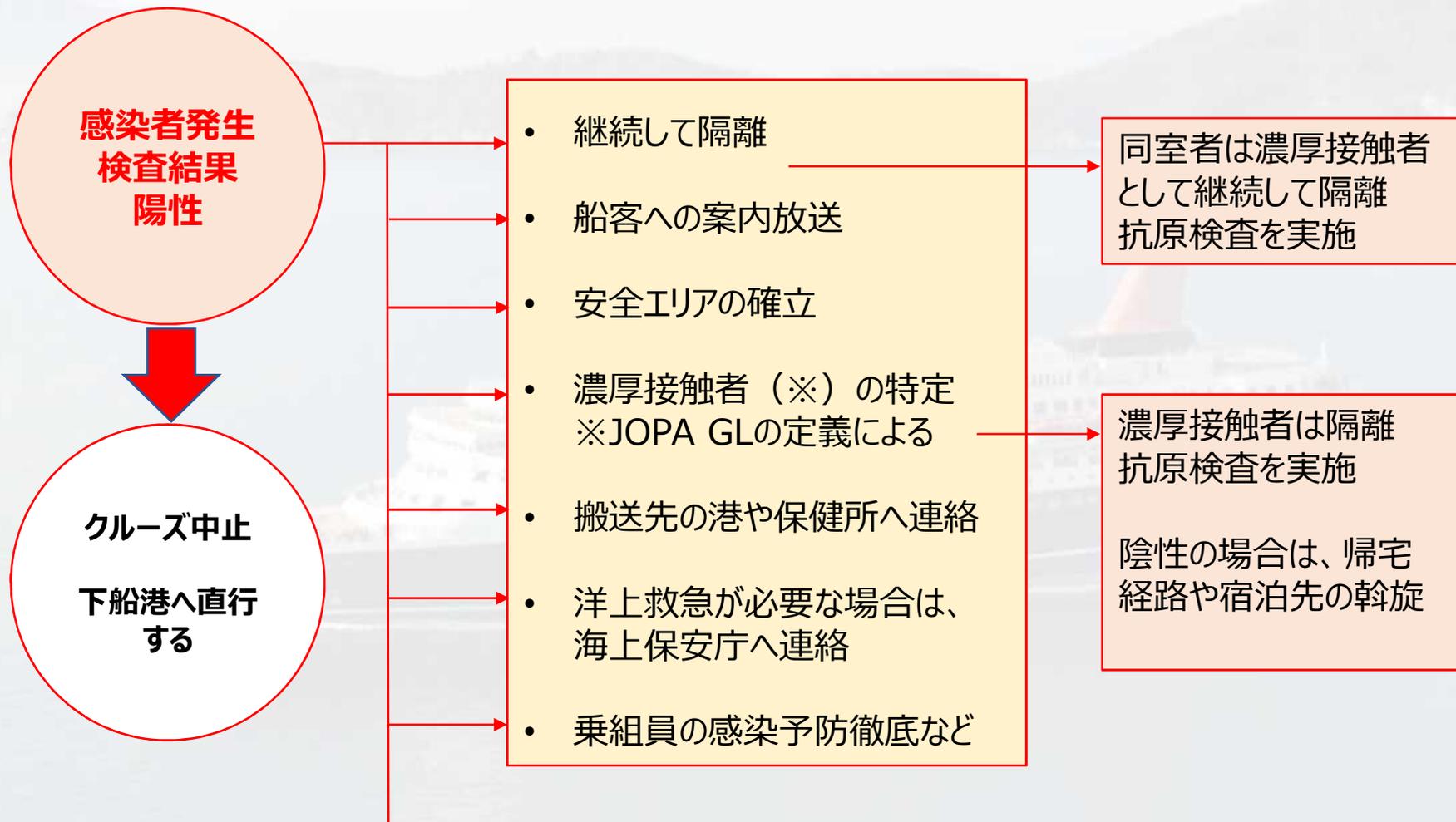


- ✓ 独自に開発した**濃厚接触者特定アプリ**を導入  
(QRコードと乗船証を利用した位置把握システムを導入)
- ✓ 常設の隔離室を設定 (1階第二区画など約20室)、  
うち1室には陰圧テントを設置
- ✓ 船医による内線電話を利用した問診
- ✓ 個人防護服 (PPE : Personal Protective Equipment) を常備
- ✓ 新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの導入、  
PCR検査キットの導入(2021年2月予定)
- ✓ 感染者搬送経路など関係当局との事前確認やドリル実施  
(東京 10月7日、横浜 10月20日、神戸 10月30日)

# 有症者発生時の対応



# 感染者発生時の対応



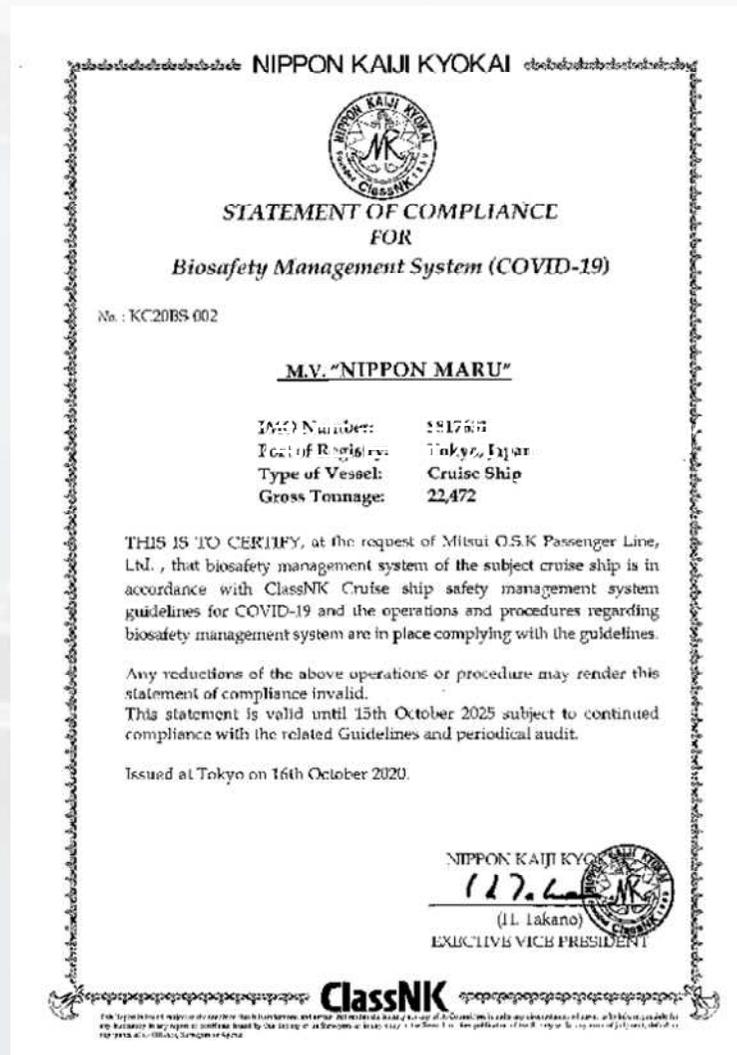
本社サイドでコロナ対策本部設立 関係機関との連絡・協議、MOLとの連携  
現地対策班（ケアセンター）、メディア対応

# 衛生管理規程とPDCAサイクルの実践

- ✓ 国交省「安全管理規程」に「衛生管理規程」新設（監査、罰則の対象）
- ✓ 一般財団法人日本海事協会（NK）による当社対策マニュアルのバイオハザードセーフティガイドラインに基づく認証
- ✓ 少なくとも年1回、または必要と認めるときは船内の内部監査
- ✓ 内部監査の結果を検証するためのマネジメントレビューを開催
- ✓ リスクアセスメントの実施
- ✓ 記録の管理
- ✓ 公衆衛生の専門機関の指導協力を仰ぐ、  
公衆衛生の専門機関による乗組員の継続的な教育



# 一般財団法人 日本海事協会 鑑定書 (本認証)



2020年10月16日取得

## 引用規格および参考文献、協力機関

*Cited standards and references,  
Organizations*

- 一般社団法人日本外航旅客船協会：  
外航旅客船事業者の新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン
- WHO：Operational considerations for managing COVID-19 cases or outbreaks on board the ship (Interim guidance 24 February 2020)
- IMO：Coronavirus (COVID-19) - Recommended framework of protocols for ensuring safe ship crew ship crew changes and travel during the coronavirus (COVID-19) pandemic (Circular Letter No.4204/Add14 5 may 2020)
- CDC HP：<http://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/index.html>

一般社団法人 日本外航客船協会 Japan Oceangoing Passenger Ship Association



World Health Organization



Centers for Disease Control and Prevention  
CDC 24/7: Saving Lives, Protecting People™



INTERNATIONAL  
MARITIME  
ORGANIZATION



BUREAU  
VERITAS

Shaping a World of Trust



一般社団法人 日本感染症学会  
The Japanese Association for Infectious Diseases



一般社団法人 緑十字環境衛生公社